



荒崎水害裁判  
支援する会

## 水害のない街を子ども達に

### 荒崎水害裁判一審判決批判学習・討論会開催

荒崎水害裁判は、本年2月26日に原告要求を退ける不当判決をくだしました。原告団の7割を超える132名の方が名古屋高裁に控訴されました。又地域に多くの貢献してきたオーミケンシ大垣工場の廃止が明らかにされました。第80回西濃メーデー実行委員会は、閉鎖に対する声明とオーミケンシ大垣工場に申し入れ行いました。オーミケンシ大垣工場閉鎖に対する声明を掲載します。

市議会議員 笹田トヨ子

## 荒崎地域は遊水地 県の責任認めず

洗堰に越流堤としての機能があり、荒崎地区が事実上の遊水地とされてきたと認定し、それが水害の大きな原因であり、これまでも越流が繰り返されていたとしながらも、県が改修計画に基づいて改修中であったことなどから、県の管理に落ち度はないというものでした。

## 荒崎地域の実情を無視した 判決 132名が控訴

荒崎地区が他の地域の安全を確保するために負担を強いられ、長年の間繰り返し重大な被害を被ってきたことや、このような地域は他に見られないことなどが、判決においては、荒崎地区住民がおかれているような特別な状況については、考慮されませんでした。

原告団の失望と怒りは大きく、原告団の7割を超える132人が控訴しました。

## 荒崎水害裁判を支援する会開催の学習・討論会のお知らせ

- ☆と き 6月17日(水) 19時から
- ☆と ころ 荒崎地区センター会議室
- ☆報 告 者 ぎふコラボ 笹田参三・綴喜秀光弁護士

## オーミケンシ大垣工場 閉鎖に対する声明

私たちは、西濃メーデー相談村に結集した者です。今年のメーデーは、雇用・労働問題を中心とする深刻化する社会状況のもとで開催されました。全国的に、労働組合、弁護士、医療団体等による相談活動が展開されるなか、西濃メーデーにおいても、労働・営業・健康・くらしに関わる相談会(メーデー相談村)を開催しました。相談村には、多くの相談者が訪れ、西濃地域においても雇用とくらしの深刻さが増していることが明らかになりました。

このような状況の下、先般の新聞報道によると、オーミケンシ大垣工場が閉鎖されるとのことであります。私たちは、西濃地域に生活している、この工場で今働き、また過去働いた労働者を多数知っております。同工場の閉鎖によって、長い伝統のある、大垣の大事な工場が消えさることは、寂しい限りです。

同時に、同工場の閉鎖によって、広域配転に応ずることができない労働者が多数あるものと考えられ、職を失う危険性があると心配しております。以上のとおり、オーミケンシ大垣工場が閉鎖されることがないように申し入れます。

2009年5月21日

第80回西濃メーデー実行委員会

委員長 藤井裕

西濃メーデー相談村

弁護士 笹田参三

医師 柄澤正人

労働組合役員 小倉文雄